

新年あけまして おめでとうございませす

新しい年2018年が、みなさまにとって幸せな年でありますように、心から祈念いたします。

昨年は突然の解散総選挙で、大変お世話になりました。日本共産党は後退いたしました。野党共闘の前身という貴重な成果も得られました。次の選挙をめざして党の自力づくりに全力をつくします。

また昨年は、ともに活動してきた竹内市議が突然離党するという事態も起こり、期待をこめて一票を投じて下さった方々に、ここからのお詫びを申し上げます。

今年は一人で二人分がんばる決意です。市内全域のみなさまが、遠慮なくお声をかけて下さいますよう、よろしくお願いいたします。



2018年元旦

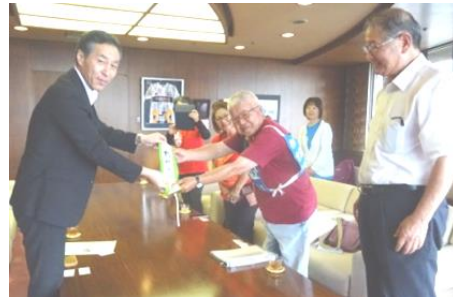
市議会議員
平野 文活



阿南副市長から原水爆禁止世界大会への別府市としてのペナントを託されました
2017/7/10 ↓

ワンコインバス問題では、何度も議会で「公約どおり実現を」と求めましたが、結局、「半額補助」ということになりました。 ↓

↑
2日間の平和行進を終えて、日出町に引き継ぐ前に関の江で記念撮影
2017/7/11



↓
突然の解散総選挙で、田村智子副委員長を迎えて街頭演説会を開きました。
2017/10/12 ↓

↓
温泉発電問題で「地域の環境を守るよう国としても指導強化を」と、経済産業省にも申し入れ。
2017/8/24 ↓

↓
小倉地区のみなさんとともに、温泉発電問題で九州経済産業局と交渉しました。
2017/5/29 ↓



日本共産党別府市議 平野文活 (ひらのふみかつ) (自宅)21-6749 (携帯)090-9073-0291

げんきニュース

2018年1月1日(月)
別府市石垣西8丁目2-31
TEL22-6576 Fax23-6529

NO. 721

高すぎる国保税は引き下げを！

平野市議は 次のように主張しました。

- ◆別府市の国保税は高すぎる。平成28年度決算では「所得ゼロ世帯49%、滞納世帯34%」だった。市自身も「別府市は低所得者が多く、これ以上の値上げはできない。制度維持のためには国の支援拡充が必要」と認めてきた。
- ◆国は県単位化を前に、平成27年度から国保会計に対する国庫支出金を増額しており、平成28年度の別府市の国保会計は約2.6億円の黒字になり、平成29年度末では約1.3億円の基金も見込める状態だ。平成30年度の国庫支出金はさらに増額される見込みであり、国の支援は全額を「国保税の引き下げ」にまわすべきだ。

来年度(2018年4月)から、国民健康保険が県単位で運営されるようになります。

国保税がどうなるかについて、県が試算をしていますが、昨年9月では一人あたり「1万1234円の引き下げ」という試算でした。ところが11月には「135円の引き上げ」という試算額が示されました。

介護保険第7期計画について

平野議員は次のように問題提起しました。

- ◆介護保険料は払える金額に。第6期計画(H27～29)の別府市の保険料は5739円、県平均5599円で、全国平均5514円で、県・全国平均よりも高かった。
 - ◆第6期での施設整備計画(特別養護老人ホーム49床の増床)は、計画どおりできなかった。(特養20床は増床できたが、地域密着型29床はできなかった)第7期(H30～32)では低所得者も入れる施設を増やすべき。
 - ◆介護保険から外され総合事業に移された高齢者が、必要なサービスを受けられない事態を生まないようにすべき。(総合事業からの「卒業者」がH27～28で176人もいると言うが、本当に介護サービスが必要なくなるほど身体状況は改善されたのか)
 - ◆地域包括支援センターの運営実態は今のままでよいのか。直営化も検討すべきではないか。
 - ◆各介護事業所の経営や労働条件などの実態調査をして、問題点は国にも意見をあげ、市でできることは改善すべき。
- ……等々。

介護保険第7期計画(素案)が

新年早々に発表され、市民からの意見を募集する予定です。

市HPの新着情報をクリックすると、素案が見れ、意見も送れます。